

# Laberinto

フラメンコに革新を

— Masamy Okada y Andrés Marín —

国田昌己 第32回  
スペインを踊る

奇才アンドレス・マリンついに来日!

¡Genial artista que se mueve entre la tradición y la vanguardia!

2018年 7/9 (月)・10 (火) 19時開演

国立劇場 小劇場

主催：エストゥディオ・マドリッド

後援：スペイン大使館、公益財団法人 日本スペイン協会、セルバンテス文化センター東京、一般社団法人日本フラメンコ協会





バイレ  
アンドレス・マリン  
Andrés Marín

カンテ  
ラ・トレメンティタ  
La Tremendita

カンテ  
セグンド・ファルコン  
Segundo Falcon

ギター  
サルバドール・グティエレス  
Salvador Gutiérrez



バイレ  
岡田昌己  
Masamy Okada



パーカッション  
ダニエル・スアレス  
Daniel Suárez

クラリネット  
ハビエル・トゥリゴス  
Javier Trigos

# Laberinto

フラメンコに革新を

なおも燃え止まぬ魂の炎 - 岡田昌己「新しい世界へ」

2016年の春、脚の不調から不死鳥のように蘇った岡田昌己の公演「銀山の唄」は東南スペイン鉱山地帯の哀史を踏まえた人間ドラマで、彼女のライフワークである「スペインを踊るシリーズ」に、新機軸を打ち出すものと評価された。その折りに示されたマエストロ昌己の舞踊家かつ演出家としての健在ぶりに私たちは当然「次は何を？」の期待を抱いた。しかし、その後、彼女は思わぬ身体の不調に見舞われ、期待の実現は当2018年の夏にまで持ち越された。だが、今度の舞台は、疑いなくセンセーショナルな、しかも深い意味合いを伴ったものとなる。岡田昌己がここに繰りひろげてみせようとするものは、一面ではこれまで長年にわたり彼女が世に示してきたスペイン舞踊・フラメンコ舞踊に関するコンセプトの継承であろう。しかし、おそらくそれ以上に濃く浮かび上がるのは今度の舞台が岡田昌己にとって確実に「新しい世界」を拓くものになるという事実の違い。彼女が語るには、そのような志を彼女に抱かせたのは、何年前か、スペインに赴いた折、やや久し振りに出会ったあるバイラオール(男性舞踊手)のありかただという。その名はアンドレス・マリン。フラメンコの伝統を継ぐ血統に生まれた彼はいま40代半ばの円熟期にあるが、その舞台、また彼自身の舞踊は思い切った斬新さで知られる。が、その一方では、ファンから「ムイ・フラメンコ！」(なんて本物のフラメンコなんだ)という反響を得るといふ。「できたら、このバイラオールと舞台を共有することで、私もいま、新しい進路を見出したい」という願いから、彼女はこの舞台「新しい世界へ」を発想し、具体化したのである。それは現代社会の混沌、出口の見えない迷路から新しい「夜明け」を見出す人の物語になるという。そのように語る岡田昌己の眼差しに、筆者は、一代の舞踊芸術家、掛け替えのないスペイン舞踊家・フラメンコ舞踊家の、なお燃え止まぬ魂の炎を見る。

濱田滋郎(日本フラメンコ協会会長、スペイン文化研究家)



バイレ  
イバン・オレジャーナ  
Iván Orellana

バイレ  
マヌエル・デル・リオ  
Manuel del Río



バイレ  
高野美智子  
Michiko Takano

バイレ  
林 順子  
Junko Hayashi

バイレ  
鈴木千琴  
Chikoto Suzuki



バイレ  
小野木美奈  
Mina Onogi

バイレ  
塚原利香子  
Rikako Tsukahara

バイレ  
佐渡靖子  
Yasuko Sado

2018年7月9日(月)・10日(火) 19時開演

国立劇場 小劇場 東京メトロ永田町駅 (4番出口から徒歩8分)

A席 10,000円 B席 8,000円

～チケット・お問い合わせ～

(株)インターミューズ・トーキョウ Tel.03-3475-6870/Fax.03-3475-6417  
エストゥディオ・マドリッド e-mail: ana.estudiomadrid@gmail.com  
国立劇場チケット売場(窓口販売10時～18時) Tel.03-3265-7411

構成・振付・芸術監督・選曲/岡田昌己 振付・演出/アンドレス・マリン 作曲・編曲/サルバドール・グティエレス 照明/井上正美 音響/三上修次  
舞台監督/羽賀義博 衣裳デザイン/岡田昌己 衣裳/アルマ、ソニアジョーンズ 写真/大森有起 デザイン/23's FACTORY  
企画・制作/エストゥディオ・マドリッド マネジメント/(株)インターミューズ・トーキョウ